

日本地域看護学会 第24回学術集会

日時：

【ライブ配信】9月11日（土）～9月12日（日）

【オンデマンド配信】8月27日（金）～9月26日（日）

開催方法：オンライン

テーマ：共生社会における新たな地域看護の挑戦

プログラム（予定）：学術集会長講演「共生社会を目指す地域看護」岸恵美子（東邦大学看護学部看護学部長）／特別講演1「日本の貧困の現状とこれから—地域における包摂」阿部彩（東京都立大学人文社会学部教授）／2「精神障害者を支える活動から『私たち』が、町で生き抜くための実践へ」長野敏宏（ハートinハートなんぐん市場理事）／3「地域共生社会の実現に向けて—世代をつむぐ、地域をつなぐ、循環する共生社会の創生」藤原佳典（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム研究部長）／教育講演1「地域の健康行動を支える—自らの意志で健康向上や回復に向けて取り組んでいただくために」福田吉治（帝京大学大学院公衆衛生学研究科教授）／2「クライシスマネジメントの本質—本質行動学による3.11大川小学校の研究から地域看護が学べきこと」西條剛央（Essential Management School代表）／3「重症心身障碍児者とその家族が災害の中で生きることを支える—東日本大震災での避難や生活の難しさから」山本美智代（東京都立大学健康福祉学部教授）／シンポジウム1「共生社会とwell-being

（幸福・健康）—つながりから共創へ」紅谷浩之（オレンジホームケアクリニック理事長）、福井大輔（株式会社未来企画代表取締役）、樋口千恵子（たんがく理事長）／2「地域包括ケアにおける看護職の役割—医療・看護・介護・福祉の連携・協働で目指す共生社会」野澤幸江（広島県西部保健所広島支所保健課健康増進係係長）、磐城美樹（楢葉町地域包括支援センターセンター長）、諏訪部高江（訪問看護ステーションおこSUN管理者）、カ石泉（前豊郷病院地域包括統括部長）／3「新型コロナウイルス感染症対策の実践から学ぶ—私たちは何ができるか、これから何をすべきか」尾島俊之（浜松医科大学医学部医学科教授）、春山早苗（自治医科大学看護学部 学部長・教授）、馬場順子（福岡県保健医療介護部がん感染症疾病対策課参事）／4「看護基礎教育に必要な地域看護とは—地域・在宅看護論」の教育で目指す新たな地域看護」宮本千津子（東京医療保健大学千葉看護学部副学長）、河野あゆみ（大阪市立大学大学院看護学研究科在宅看護学教授）、大木幸子（杏林大学保健学部教授）、宮崎美砂子（本学会理事長）／理事会企画セミナー「『Society5.0』の社会における人びとのライフスタイルの展望と新たな課題—ポスト・ウイズコロナ社会への転換を視野に入れて」乙部由子（元名古屋工業大学特任准教授）／パネルディスカッション1「共生社会を支える支援者同士の横のつながりづくりを考える」木村志義（ベガサス代表理事）、高木智子（株式会社アルビオン本社健康管理室統括保健師）、並木美砂子（浦安市福祉部高齢者包括支援課課長）／

2「コロナ禍が進めた働き方改革—新たな働き方と産業保健看護活動」岡田睦美（富士通株式会社健康推進本部健康支援室室長）、松坂亜紀子（株式会社インテージ・アソシエイツ本社健康づくり推進部）、岡林知代子（東京海上日動火災保険株式会社人事企画部ウェルネス推進室）／指定集会1「地域での新たな看護の展開—看護を提供する多様な主体と、ともに支え合う地域づくりへの参画」矢田明子（Community Nurse Company 株式会社代表）、小松亜矢子（横須賀まちの保健室プロジェクト）、川田貴久江（横須賀市福祉部健康長寿課介護予防係長）／2「どのように生きていくのか、健康的によりよく生きるを支える—新しい訪問看護の活用のあり方」富田薫（千葉市保健福祉局健康福祉部部長）、平原優美（あすか山訪問看護ステーション統括所長）、阿部智子（訪問看護ステーションけせら統括所長）／3「地域における死別サポートの未来を考える」工藤朋子（岩手県立大学看護学部教授）、大島泰江（訪問看護ステーションコスモス主任）／篠原良子（家で死ぬるまちづくり はじめの一歩の会会長）／4「共生社会の実現に向けた看護者の倫理」会田薫子（東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター特任教授）、手島恵（千葉大学大学院看護学研究院教授）、吉川久美子（日本看護協会常任理事）／研究力向上セミナー1「将来を見据えながら目の前の課題に取り組む実践研究—介護事業所との協働研究をCBPRの理論と視点から読み解く」成瀬昂（東京大学大学院医学系研究科附属グローバルナースングリサーチセンター特任准教授）／2「保健医療福祉における実装研究の理論と可能性—住民協働の健康まち

づくりを例に」今村晴彦（東邦大学
医学部社会医学講座衛生学助教）／
市民公開講座「人とのつながりが健
康への近道一つながりと健康格差」
村山洋史（東京都健康長寿医療セン
ター研究所研究副部長）／一般演題
／ワークショップ／企業展示

参加登録期限（後期）：

9月23日（木・祝）

参加費（後期）：

【後期】一律1万2000円

【学生（院生除く）】3000円

※後期参加登録、学生は冊子送付な
し

お問い合わせ：

【入会・学術集会全般】株式会社
ワールドプランニング

東京都新宿区神楽坂4-1-1

☎03-5206-7431

✉jachn24@worldpl.jp

【大会事務局】東邦大学

〒162-0825 東京都大田区大森
西4-16-20

✉jachn24@ml.toho-u.jp

【オンライン開催担当】株式会社ユ
ピア

✉jachn24@yupia.net

第68回日本栄養改善 学会学術総会

日時：10月1日（金）～2日（土）

開催方法：オンライン

テーマ：ポストコロナ時代の栄養学

プログラム：リレー特別講演「ポ
ストコロナ時代の栄養学」／教育講演
1「第4次食育推進基本計画の重点
事項と実践栄養学研究の必要性」／
2「日本食品標準成分表2020年版
（八訂）の実務と研究への活用」／
3「令和3年度介護報酬改定と栄養
管理」／第12回日韓シンポジウム
（ライブ配信）「コロナ禍での栄養課
題」／令和2年度厚生労働省委託
事業（オンデマンド配信）「養成施

設向けの栄養学コアカリ活用支援ガ
イドの検証・普及事業」

参加登録期限（筆頭発表者以外）：

【銀行振込】9月7日（火）正午

【クレジットカード払い】：10月
12日（火）正午

参加費（筆頭発表者以外）：正会員
4000円、学生会員3000円、一般
4000円

学術総会事務局：日本栄養改善学会
関東・甲信越支部会事務局

〒261-0014 千葉県千葉市美浜
区若葉2-10-1 千葉県立保健医療
大学内

運営事務局：レタープレス株式会社
東京営業所

〒110-0005 東京都台東区上野
3-22-4 MOTビル6階

☎03-5817-8617

✉68jsnd@letterpress.co.jp

第62回日本母性衛生 学会総会・学術集会

日時：10月15日（金）～16日
（土）

開催方法：オンライン

テーマ：不確実な社会で、多様性と
「やさしさ」を考える

プログラム：会長講演「多様性と
『やさしさ』を考える」中塚幹也
（岡山大学大学院保健学研究科教授）
／理事長講演「母性衛生と倫理」正
岡直樹（日本母性衛生学会 理事
長）／特別講演1「『出生前検査』
22年目の方針転換と多様性を考え
る」河合 蘭（出産ジャーナリスト）
／2「妊婦・子どもとウイルスとの
戦いの歴史：風疹、サイトメガロウ
ウイルスから新型コロナまで」中野貴
司（川崎医科大学小児科学教授）／
会長企画1「私らしさと、やさしさ
と。」西原さつき（乙女塾）／2
「風疹の流行を繰り返さないために
そして、母の願い」可児佳代（風疹

をなくそうの会「hand in hand」共
同代表）／教育講演1「『妊娠高血
圧症候群 up to date』増山 寿（岡
山大学大学院医歯薬学総合研究科産
科・婦人科学教授）／2「コロナ禍
で注目される緊急避妊薬の話」北村
邦夫（日本家族計画協会会長）／3
「生殖医療におけるICT活用」林
伸旨（岡山二人クリニック理事長）
／4「理学療法士の視点に基づいた
母子支援とそのアイディア」島谷康
司（県立広島大学保健福祉学部理学
療法学科教授）／5「産科における
AIの利用」宮木康成（三宅おおふ
くクリニック院長）／6「嘔む力は
胎児から：妊娠中から始める食育」
渡邊典子（新潟青陵大学看護学部
看護学科副学長）、中野智子（日本
歯科大学新潟生命歯学部食育・健康
科学客員教授）／シンポジウム／
ワークショップ／会長企画／学生企
画／コメディカル愛育賞セッション
／市民公開講座

事務局：岡山大学大学院保健学研究
科中塚研究室「妊娠中からの母子支
援」即戦力育成プログラム事務局
〒700-8558 岡山県岡山市北区
鹿田町二丁目5-1

☎086-235-6538

✉josan@cc.okayama-u.ac.jp

運営事務局：株式会社キョードーブ
ラス

〒701-0205 岡山県岡山市南区
妹尾2346-1

☎086-250-7681

✉jsmh62@kwcs.jp